

20 周年記念イベントを開催 「大阪海遊館 海洋生物研究所 以布利センター」は おかげさまで 20 年を迎えます!

海遊館（大阪市港区）が運営する海洋生物の研究施設「大阪海遊館 海洋生物研究所 以布利センター（以下、以布利センター）」（高知県土佐清水市）は、平成 9 年 9 月 24 日に開設し今年で 20 周年を迎えます。運営にあたりましては、以布利地区の漁業関係者をはじめ、土佐清水市の皆様より多大なご支援を賜り、周辺海域で見られる魚類をまとめた図鑑「以布利・黒潮の魚」では、日本初となるイブリカマスを記録することができました。また、大型水槽を用いたジンベエザメのトレーニングや回遊経路調査による生態解明、世界でも例のないイトマキエイの長期飼育などに



以布利センター（第一水槽の内部）

成果を挙げるすることができました。この度、平成 29 年 7 月 29 日（土）に 20 周年を記念するイベントを以布利センターに隣接する広場にて開催し、改めて以布利センターをご見学いただき、お祝いの餅まきなどを通して地元の皆様への感謝の気持ちをお伝えしたいと考えています。また、引き続き、海洋生物に関する情報発信や特別公開を通して、より多くの皆様に生物多様性が豊かな以布利の海に興味を持っていただき、地域の活性に貢献したいと考えています。

【以布利センター開設 20 周年記念イベントについて（開催概要）】

日時/場所 平成 29 年 7 月 29 日（土）10：00～14：00 / 以布利センター第二水槽、海側のスペース

ご来賓	土佐清水市長	泥谷 様
	以布利区長	川上 様
	高知県漁業協同組合統括支所長	岡林 様
	以布利共同大敷組合 組合長理事	中平 様
	以布利共同大敷組合 先長	松下 様

主催 株式会社海遊館 渡壁（専務）、西田（海遊館館長）、猪田（以布利センター長）ほか

共催 土佐清水市

協力 （一般社団法人）土佐清水市観光協会

内容 10：00～ 主催者よりご挨拶（海遊館館長 西田）、ご来賓よりご挨拶（土佐清水市長 泥谷様）
鼓笛隊の演奏（幡陽小学校鼓笛隊）、足摺踊り（観光協会）、海遊館によるクイズ大会
足摺太鼓（観光協会）など

13：30～ 餅まき

14：00～ 以布利センター第二水槽の
自由見学

記念イベントの開催に合わせて、鮮魚販売や地元の皆様による出展、海遊館によるワークショップ（ペーパークラフト）なども予定しています。

【大阪海遊館 海洋生物研究所以布利センターについて】

平成9年9月、高知県土佐清水市以布利に開設。大型の円形水槽（直径約20m、水深約5m、水量約1,600t）と研究管理棟を設置。海遊館で展示する生物の収集、生態研究ならびに足摺岬周辺海域における海洋生物の基礎的研究を始める。

平成13年4月には京都大学、高知大学と共に行った魚類相調査の成果をまとめ、海遊館から図鑑「以布利黒潮の魚 ～ジンベエザメからマンボウまで～」を発行した。同図鑑には、ジンベエザメやマンボウの形態や飼育下における生態をはじめ、日本初記録となる「イブリカマス」、「カイユウセンニンフグ」の2種を含む136科567種を収録。「イブリカマス」は、平成17年5月発行の日本魚類学会の英文学会誌（Ichthyological Research）において、新種に認められた。

平成21年12月には、「第二水槽」（約19m×約31m×水深約5m + 約8m×約8m×水深約5m 水量3,300t）を開設。ジンベエザメなどの大型魚類の飼育を行い、健康管理のためのトレーニングや回遊経路調査などに取り組み、謎の多い海洋生物の生態調査や繁殖研究を行っている。



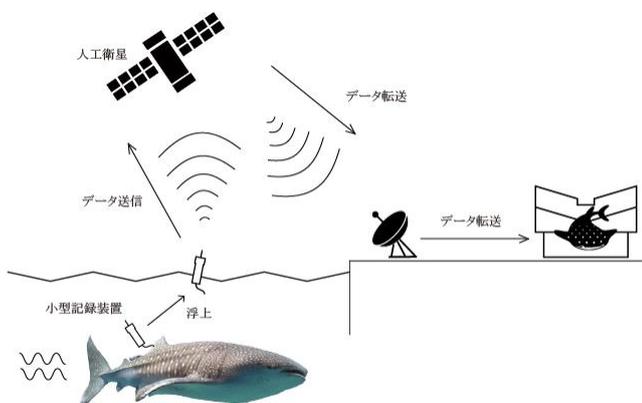
以布利センター（右：第一水槽、左：第二水槽）



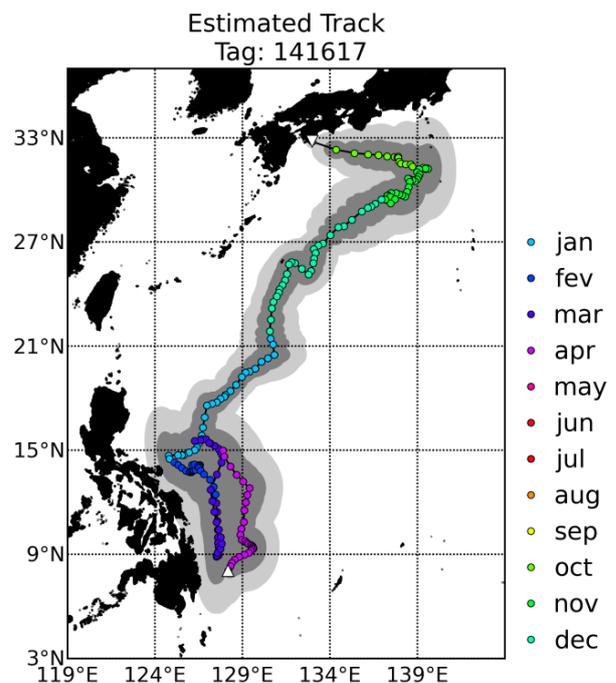
世界で初めて長期飼育に成功したイトマキエイ



平成17年に新種として確認された「イブリカマス」



ジンベエザメの回遊経路調査（上）と調査データ



以布利を出発したジンベエザメが、フィリピン沖まで南下した。水深1,500mまで潜水していたことも明らかになった。（平成27年10月に開始した6ヶ月間の調査）